

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

令和元年九月度 入選句（投稿総数二千三百二十二句・小中学投句数千六百十三句）

## 特選

こい麦茶きよねんと同じ母のあじ 大垣市 白井 莓実(小六)

暑かった夏。一日に何度もお茶を口にしたことでしょう。その麦茶を口にした瞬間、「去年お母さんが作って下さった麦茶と同じ味だ」と感じた作者の感じ方がいいですね。俳句は、「目・耳・口・鼻・手」すなわち「五感」を働かせて作ることが大事と言われていますが、まさに「口」で感じたことをズバリ言いきっています。そのことからお母さんへの思いが読者にも伝わってくる俳句です。

エアコンがまいにちおくちあけている 大垣市 近藤 慎乃(小二)

今年の夏は本当に暑かったですね。テレビでも毎日、いろいろな地域の温度を報道し、「部屋を涼しくしてください。」などと呼びかけていましたね。本当にエアコンなしでは過ごせない毎日でした。そのエアコンをつけ、動いている様子を「おくちあけている」と楽しい言い方をしているところがいいですね。  
こんな俳句を読むと「なるほど、そのとおり」と思つて、しばらくは暑さもどこかへいったような気になります。

友達とかかとそろえてぼんおどり 大垣市 鈴木 香帆(小六)

夏の楽しみ、「ぼんおどり」を友達といっしょにしたのですね。普通ぼんおどりは、まずは、手ぶりと、身振りを揃えることに気を使いますが、「かかとそろえて」というところに目を向けること、とても大事なことです。夏の一夜、友だちとかかとをそろえて「ぼんおどり」を楽しまれた様子が目に浮かびます。

## 秀逸

ひまわりが負けず輝く太陽に 大垣市 川瀬 里菜(中二)

ひまわりとたいよういっしょにわらつて 大垣市 桐生 結衣(小三)

むすびの地ぼうしの裏まで青葉風 大垣市 稲葉 蒼大郎(小六)

いねかりをまっているいなほおじぎする 大垣市 渡部 結良(小二)

猫じやらし風といっしょにおどつて 大垣市 河本 琉璃(小六)

かたつむりがんぼり屋だねはやくなれ 大垣市 古田 健真(小三)

あきかぜはいろんなたねのはこびやさん 大垣市 広せ そう一ろう(小四)

はかまいり元気にしてるおばあちゃん 大垣市 野村 陽向(小五)

運動会気持ちをつなぐバトン持つ 大垣市 小田切 亜実(小五)

令和初最後の一発大花火 大垣市 酒本 峻太郎(小六)

入選

太陽があせかく私を笑ってる	大垣市	高橋	風咲(小四)
梅雨の日も私の心はいつも晴れ	大垣市	島原	紗菜(小六)
青葉風ほんのりかおる葉のにおい	大垣市	田代	夏美(小六)
セミたちのミンミン電話ききたいな	大垣市	酒井	遙希(小六)
ぼくだって魚みたいだながれるプール	大垣市	佐竹	詠宇(小二)
赤とんぼ大きなめがねおしやれさん	大垣市	吉國	友菜(小二)
せんせいにあえたうれしい二学きだ	大垣市	かめ田	しんじ(小二)
夕ぐれに花火とえがおはじけたよ	大垣市	田代	友理(小二)
しぎようしきとんぼといつしよに下校する	大垣市	しみず	かな(小二)
かくれんぼしてみたくなるにわもみじ	大垣市	渡部	航(小三)

入選

秋風が私の顔をこしよぐるよ	大垣市	安田	智香(小六)
つばめさん昼間はどこに行ってるの	大垣市	木下	ゆう花(小三)
おつきさまくもにかくれてかくれんぼ	大垣市	加代	幸汰(小四)
川にあるメダカの学校夏休み	大垣市	宮部	凜成(小四)
エラーして見上げる空にいわしぐも	大垣市	まぶち	けいご(小五)
赤とんぼ仲間とひそひそはなしてる	大垣市	服部	瑠花(小五)
運動会新品のくつどろまみれ	大垣市	高橋	梨里(小五)
墓参り迎えに来たよおばあちゃん	大垣市	岡田	真依(小六)
鰯雲友と歩いた帰り道	大垣市	野村	煌希(小六)
蝉たちが木にはりついてないている	大垣市	遠藤	瑠希(小六)

選者吟

どこまでも秋夕やけの散歩道

祐子